

令和6年度 施策事前評価シート

施策責任者 所属	長寿介護課 福祉保険課		電話番号	直通	989-5511 989-5512
基本目標	いきいきとした暮らしを支える 優しいながいずみ				
政策	健康で幸福を実感できるまちの実現		施策分野	高齢者福祉	
施策分野 の総事業費	前年度 決算額	3,808,239	千円	今年度 予算額	3,916,123 千円

施策の進捗状況

	成果指標名称	年度	現状値	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	単位	進捗評価
1	第1号被保険者数のうち介護認定を受けてない高齢者の割合	目標値		85.0	85.0	85.0	85.0	概ね85%を維持	%	A
		実績値	84.7	84.3	84.5	84.0				
2	介護認定者のうち更新時に介護度が維持もしくは改善した人の割合	目標値		60.0	60.0	60.0	60.0	概ね60%を維持	%	B
		実績値	60.4	50.0	53.9	53.9				
3		目標値								
		実績値								
4		目標値								
		実績値								
				総合評価			B：順調			

事前分析

施策分野における これまでの 取り組みの概要	高齢者に対する見守りの強化、在宅生活の支援の充実、地域包括支援センター機能の強化（3つの小学校圏域を2つの概ね小学校圏域に再編・専門職の増員（令和5年度））、生活支援有償ボランティア活動（ごみ出し、話し相手等）の実施（長泉小学校区：令和4年1月）、生活支援有償ボランティア活動の実施地域を町内全域に拡大（令和5年5月）
施策分野における 背景・環境 及び抱えている課題	・令和6年4月1日現在の65歳以上の高齢者人口は9,771人、高齢化率は22.5%で、今後も増加傾向が続ぎ令和12年には24%を超える見込みとなっており、高齢化に伴い、要介護、要支援認定者数も増加傾向にある。 ・人生100年時代を見据え、元気な高齢者には社会を支える側として、豊富な経験と能力を活かせる場の確保がこれまで以上に必要となる。 ・成果指標2の目標値と実績値に6.1ポイントの乖離が生じている。令和2年2月以降は要介護認定の臨時的な取扱いにより認定有効期間を延長できるようになったこと、令和3年度から認定有効期間が最長4年間（令和2年度までは最長3年間）になったことなどにより、介護度の変更申請の割合が増加し、介護度が悪化する割合が増加した。
施策分野における 改革・改善内容 及び今後の見通し	・要介護認定者数は増加しているため、引き続きフレイルや認知症の予防などを目的とした一般介護予防事業や介護予防・生活支援サービス事業の拡充を検討していく。 ・令和6年度にスタートした第10次高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画に基づき、高齢者福祉施策の一層の推進と介護保険事業の円滑な運営を図る。 ・介護認定者の介護度の維持、改善のため、介護が必要になる前から介護予防事業を実施していくほか、介護保険事業所の指導やケアマネジャーの研修等による介護人材の資質向上、自立を促すケアプランとなっているかの点検等、介護保険事業所への支援と介護従事者の資質向上に向けた取り組みを継続的に実施する。 ・住民が主体となって行う介護予防や生活支援サービスの拡大・継続を図るため、令和6年度から介護予防や生活支援サービスを実施する団体に対して補助金による助成を開始する。